

総括表		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>戸建ての住宅地として開発され、同時期に入居された世代が一斉に高齢化している。 住民同士の支え合いの仕組みづくりが進んでいる地域も有るが地域活動やボランティア活動の高齢化、固定化が一様に見られている。一方、斜面地の開発や、戸建て住宅の世代交代、相鉄線のJR乗り込みによる西谷駅の利便性も影響し少しずつ若い世代の流入も見られている。多世代交流を促し、地域の活性化が求められている。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>チームオレンジの取り組み 認知症になっても安心して暮らし続けられるネットワークがある街であることを可視化し体感出来ることを目指す。 昨年立ち上がった「認知症を学ぶ・スマイルカフェ」が認知症理解と普及啓発の為にチームオレンジの活動拠点と成るよう取り組み、この取り組みの最終目標で有る「住民主体のチームオレンジ」を目指す。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>多世代食堂「白根みらい食堂」が、白根地区社会福祉協議会主催で毎月開催されている。 実際に運営に関わるボランティアスタッフの相談対応、支援を行い、継続的安定的な事業継続を目指し、担い手と参加者が安心して集える居場所を支える。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>住民同士が助け合う「おすそ分け会」を開催していく。 地域住民や、趣旨にご賛同いただいた企業の協力のもと頒布会を開催し、困った時はお互い様の継続的な循環サイクルを構築し、事業開催に携わってくれるボランティアも継続的に支援し、他の活動の場へも互換性をもって導いていく。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>生活様式の変化によって課題が現出してきた活動団体に対して、ケアプラザがプラスワンのご提案を行い、活動の活性化を支援する。場合によっては、活動と活動のマッチング等も行っていく。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>買い物支援、集いの場作りのご相談をいただいている地域が有る。 担当地域内のアセスメントを深め、移動販売やサロン展開も含め地域や区社協、関係団体と相談しながら、社会資源の開発、導入を検討し住民主体の地域作りを目指す。</p>
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<p>毎月広報紙で取り組みの周知記事。認知症カフェと共催の認知症サポーター養成講座の開催、ロゴ36作品の応募、白根カーニバル等での住民投票延べ840票、旭区SOSネットワーク協賛店への取り組みの説明会開催、白根カーニバルに参加しロゴの投票、協賛店の紹介、ちらし配布で可視化による周知ができた。3月には協賛店を巡るスタンプラリーを開催。</p>		
<p>コロナ禍においても多世代交流の場として対策を講じながら毎月開催できた。回を重ねる毎にボランティアスタッフの意識が、無事開催する事から、どのように開催するべきかを考えるようになった。振り返りの会議へ今後継続出席していく。</p>		
<p>おすそ分け会は、地域、近隣企業からの協力が得られ、当日の参加者は70名あまりに至った。今後、地域共助の活動として、地域の方による、地域のためのイベントにつなげていきたい。</p>		
<p>「カフェ輪」の活動に白根地域ケアプラザで誕生したボランティア連絡会の仲間が演奏を披露したり、旭図書館の読み聞かせ団体「なごみの会」を依頼した。ボランティアの相互活動が働き、活躍の場が増え「カフェ輪」の参加者も増えた。</p>		

移動販売の新規実施は、開催自治会の活動の活性化や、疎遠になりかけていた住民同士のつどいの場としての役割も担っている活動となった。成功事例として他エリアでの導入も検討していく。

□ 区からのコメント

- ・自主事業の企画・実施にあたっては、これまでの内容を改めて考察し、一部変更することで、事業対象者を新たに設定（追加）するなど、PDCAサイクルがしっかりと意識されています。他施設・機関との連携にも積極的に取り組まれており、今後も引き続き目的がしっかりしており、かつユニークな白根地域ケアプラザ「オリジナル」と言える事業の企画・実施を期待しています。
- ・ケアプラザ内で連携を取りながらチームオレンジ事業に取り組まれています。また、地域の現状を把握し、地域課題や個別対応に積極的なアプローチができています。今後も引き続き関係機関や地域の団体などと連携をとり、業務に取り組まれることを期待します。
- ・子ども食堂やチームオレンジの活動を通して、地域がケアプラザの役割を理解し、一体となって活動を進められる関係作りに取り組んでいます。地域活動の担い手不足という大きな課題に対して、引き続き地域人材の発掘・育成を目的として、働き・子育て世代を対象とした事業企画やICTを活用した情報発信、学校や多分野の事業者等とのネットワーク構築に努めてください。

令和4年度横浜市白根地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	福祉サービスご利用に関しては、複数のパンフレットやインターネットを利用して事業所選択への支援を行う。ケアマネジャーの事業所選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人、家族の希望に沿った選択が出来るよう助言していく。	全体での個人情報保護研修を年に2回以上実施。毎朝の朝礼で個人情報の取り扱い留意点を全員で唱和。また、毎月実施している職員全体研修で、ヒヤリハット事例の共有・検証を行い、常に自己チェックを促し、事故防止に努めていく。
実績	福祉サービスご利用に関しては、複数のパンフレットやインターネットを利用して事業所選択への支援を実施。ケアマネジャーの事業所選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人、家族の希望に沿った選択が出来るよう助言しました。	準職員を含め個人情報保護研修を実施。毎朝の朝礼時に個人情報の取り扱いの留意点を唱和し、当番制にて毎日扱いに関するの宣誓を実施。又、正職員、準職員の別なく職員全体研修に事故防止ヒヤリハット研修、コンプライアンス研修も併せて実施。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で要介護状態に至らず暮らし続けられるよう介護予防支援計画を作成する。	住み慣れた地域で、安心して日常生活を営み、出来る限りご自宅での生活を継続できるように、ご利用者様の意向に沿った適切な自立支援志向型のケアプランを作成する。
職員体制	主任ケアマネジャー、保健師(管理職兼務)、社会福祉士	介護支援専門員:常勤4名(専従3名、管理者兼務1名)
契約者数	契約者数:170件	契約者数:130件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			

契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】
-------	--------------------	--------------------	--------------------

令和4年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,261,703	200,800	16,462,503	15,375,278	1,087,225	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	50,250	△ 50,250	
雑入	0	0	0	27,170	△ 27,170	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	27,170	△ 27,170	
その他	169,502		169,502	169,502	0	
収入合計	16,431,205	200,800	16,632,005	15,622,200	1,009,805	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,979,318	0	10,979,318	9,622,283	1,357,035	
本俸	9,669,506		9,669,506	7,640,644	2,028,862	
社会保険料	704,914		704,914	759,537	△ 54,623	
手当計	530,988		530,988	1,147,241	△ 616,253	
健康診断費	3,819		3,819	0	3,819	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	64,528		64,528	69,298	△ 4,770	
その他	5,563		5,563	5,563	0	
事務費	1,619,888	0	1,619,888	1,478,172	141,716	
旅費	6,915		6,915	4,138	2,777	
消耗品費	204,125		204,125	198,088	6,037	
会議備い費	0		0	0	0	
印刷製本費	270,180		270,180	352,207	△ 82,027	
通信費	718,965		718,965	667,395	51,570	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	35,062		35,062	45,527	△ 10,465	
職員等研修費	18,431		18,431	3,405	15,026	
振込手数料	271		271	1,142	△ 871	
リース料	74,169		74,169	69,528	4,641	
手数料	0		0	25,280	△ 25,280	
地域協力費	12,666		12,666	12,666	0	
その他	279,104		279,104	98,796	180,308	
事業費	530,837	0	530,837	237,944	292,893	
運営協議会経費	42,000		42,000	3,757	38,243	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	488,837		488,837	234,187	254,650	
その他	0		0	0	0	
ICT整備費（追加）	0	195,800	195,800	195,800	0	
ICT整備費（追加）	0	195,800	195,800	195,800	0	
サニタリーボックス（追加）	0	5,000	5,000	3,711	1,289	
サニタリーボックス	0	5,000	5,000	3,711	1,289	
管理費	1,729,230	0	1,729,230	2,908,061	△ 1,178,831	
光熱水費	454,089		454,089	1,118,027	△ 663,938	
清掃費	829,344		829,344	1,336,361	△ 507,017	
機械整備費	93,852		93,852	98,252	△ 4,400	
設備保全費	351,945	0	351,945	355,421	△ 3,476	
空調衛生設備保守	112,970		112,970	112,970	0	
消防設備保守	52,140		52,140	52,140	0	
電気設備保守	26,070		26,070	0	26,070	
害虫駆除清掃保守			0	26,070	△ 26,070	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	160,765		160,765	164,241	△ 3,476	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
修繕費	474,000	0	474,000	64,272	409,728	
公租公課	1,097,932	0	1,097,932	962,228	135,704	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,097,932		1,097,932	962,228	135,704	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他		0	0	0	0	
支出合計	16,431,205	200,800	16,632,005	15,472,471	1,159,534	
差引	0	0	0	149,729	△ 149,729	

自主事業費 収入	0	0	0	50,250	△ 50,250	
自主事業費 支出	488,837	0	488,837	234,187	254,650	
自主事業 収支	△ 488,837	0	△ 488,837	△ 183,937	△ 304,900	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入

令和4年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）〈包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ〉

収入の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,469,359	0	22,469,359	22,255,443	213,916	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,792,898		5,792,898	5,792,898	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	21,950	△ 21,950	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	16,000	△ 16,000	
印刷代				0	0	
自動販売機手数料				0	0	
その他				16,000	△ 16,000	
その他				0	0	
収入合計	28,716,257	0	28,716,257	28,540,291	175,966	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,909,925	0	25,909,925	18,923,029	6,986,896	
本俸	16,945,634		16,945,634	10,737,067	6,208,567	
社会保険料	2,924,365		2,924,365	2,517,670	406,695	
手当計	5,628,818		5,628,818	5,270,894	357,924	
健康診断費	17,459		17,459	10,639	6,820	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	376,962		376,962	370,072	6,890	ハマふれんど
その他	16,687		16,687	16,687	0	
事務費	714,426	0	714,426	833,820	△ 119,394	
旅費	31,721		31,721	35,576	△ 3,855	
消耗品費	90,653		90,653	97,930	△ 7,277	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	130,381		130,381	137,065	△ 6,684	
通信費	230,182		230,182	211,505	18,677	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	9,320		9,320	12,102	△ 2,782	
職員等研修費	18,808		18,808	8,771	10,037	
振込手数料	51		51	85	△ 34	
リース料	61,191		61,191	61,597	△ 406	
手数料	0		0	6,720	△ 6,720	
地域協力費	32,666		32,666	32,666	0	
その他	109,453		109,453	229,803	△ 120,350	
事業費	1,506,240	0	1,506,240	1,085,520	420,720	
協力医	630,000	0	630,000	525,000	105,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	107,240		107,240	28,384	78,856	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,889	111	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	111,140	203,860	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	267,107	32,893	
その他			0	0	0	
管理費	459,666	0	459,666	773,334	△ 313,668	
光熱水費	120,706		120,706	297,196	△ 176,490	
清掃費	220,457		220,457	352,311	△ 131,854	
機械警備費	24,948		24,948	29,348	△ 4,400	
設備保全費	93,555	0	93,555	94,479	△ 924	
空調衛生設備保守	30,030		30,030	30,030	0	
消防設備保守	13,860		13,860	13,860	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	6,930		6,930	6,930	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	42,735		42,735	43,659	△ 924	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	17,084	108,916	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	28,716,257	0	28,716,257	21,632,787	7,083,470	
差引	0	0	0	6,907,504	△ 6,907,504	

自主事業費 収入	0	0	0	21,950	△ 21,950	
自主事業費 支出	876,240	0	876,240	560,520	315,720	
自主事業 収支	△ 876,240	0	△ 876,240	△ 538,570	△ 337,670	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大目目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名:横浜市白根地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,007	5,021	-14	4,422	5,206	-784	27,350	29,826	-2,476			0			0
	その他	0	0	0	0	60	-60	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0		60	-60			0			0			0
	収入合計(A)	5,007	5,021	-14	4,422	5,266	-844	27,350	29,826	-2,476	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	21,723	20,239	1,484			0			0
	事務費	33	84	-51	33	86	-53	1,438	1,343	95			0			0
	事業費			0			0		275	-275			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	3,778	4,081	-303	3,638	4,181	-543	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3,778	4,081	-303	3,638	4,181	-543			0			0			0
			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
その他			0			0			0			0			0	
	支出合計(B)	3,811	4,165	-354	3,671	4,267	-596	23,161	21,857	1,304	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	1,196	856	340	751	999	-248	4,189	7,969	-3,780	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらった事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	白根ケアプラザ大学	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	継続的に行える健康増進の講座の展開。新しい繋がりがや通いの場となり、地域との関わりを増やす。	1:高齢者		地域住民を対象に、ロコモ予防・認知症予防・お口のお手入れ・栄養等を総合的に学ぶ。(6/15、7/20、8/17、9/21、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15)	9	147
2	もっと健康体操講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	普段白根エリアで活動しているボランティアのスキルアップに加え、地域で運動に興味がある方を対象に、運動に対する座学、スリーA、脳と体操を様々な講師から学び、普段の運動にプラスαとして取り入れて頂く。	5:地域		毎週月曜日の連続講座を実施 スリーA 5/16 ハマトレ 5/23 ピーアウェイク 5/30	3	55
3	癒介市場〜ゆかいマルシェ〜	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護にかかわっている家族等が、社会的に孤立することのないよう、「学ぶ・共有・癒し」を目的に集える場を提供する。	5:地域		偶数月第3木曜日13:30～15:30 介護者同士の交流を中心に、年3回を予定に介護者向けの研修を企画。12/15中止。 6/16老健 8/18スカルモービル 2/16疲れをためないセルフケア	5	53
4	出張・介護保険説明会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護保険制度の普及啓発により、予防的利用を促進し健康寿命の延伸への動機づけをする。	5:地域		地域の方々が発行する認知症を学ぶ・スマイルカフェにて「介護保険制度とは？」をテーマに介護保険制度の説明会を実施。3/24(日)	1	30
5	出張相談会@スマイルカフェ	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	スマイルカフェ参加者の個別相談に応じ、地域包括支援センターの機能の周知を図る。	5:地域		地域の方が運営する認知症を学ぶ・スマイルカフェにて、情報提供・個別相談コーナーを設置、必要時、個別相談に応じる。(スマイルカフェ開催時実施)	11	70
6	行政書士個別相談会	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	法律専門職に個別相談をする機会をケアプラザ内で設けることで、権利擁護の普及啓発を推進する。	5:地域		行政書士の先生2名に、各組40分程度ずつ3組を目安に無料でご相談に乗って頂く。(5/21、9/29、1/28)	3	10
7	終活講座・今からはじめるおうちの片づけ	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	生前整理について考え、老いの不安を少しでも解消する終活のきっかけとする。	1:高齢者	5	生前整理・自宅の片づけについての基本やポイント、業者に依頼をする際の料金についてなどの講義。(7/12)	1	15
8	終活講座・人生100年時代に考える住まいとお金の話	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢期の住み替えとかかる費用等について学び、自身の今後の生活について具体的に考えていっていかけてとする。	1:高齢者	5	介護保険関連施設やその他の施設、高齢期でも自立生活を送る住居について、住み替えや今後かかるであろう費用や住み替えのポイントなどの講義。(10/15)	1	12
9	世界アルツハイマーデー応援認知症に寄り添う図書コーナー	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	世界アルツハイマーデーにちなみ、地域の方が認知症について理解を深め、認知症になっても安心して住み続けられる街づくりを推進する。	5:地域		旭図書館の協力を得て、来館される幅広い世代の方に向けてケアプラザに認知症関連図書コーナーを設置。(9月中)	1	50
10	ボランティアプラス	令和4年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動への参加を促す。また、新たにちよこっとボランティア団体設立を視野にいれる。	5:地域		団体登録の更新をした方々に集まっていたが、団体同士の交流とボランティア活動について話し合う。	19	132
11	おすそ分け会	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ゴールデンウィークの多世代交流と地域の支え合い活動の支援。	5:地域		地域や協賛店から援助いただく生活用品を無料頒布する。同時に、子供向けゲームを用意して、多世代交流の機会とする。	1	69
12	シニアボランティアポイント登録研修会	平成27年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ポイントの付与により、元気な高齢者が地域の方や学生・子育て中の方等に、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加、地域貢献を通じた「生きがいづくり」を促進。	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイント登録について説明。	1	3
13	団体説明会	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体Ⅰ、団体Ⅱ向けに説明会を通して、施設利用についての確認事項等を周知する。	5:地域		団体Ⅰ・Ⅱに分けて実施する。感染症予防のための施設利用方法の確認等を行う。	1	42
14	ケアプラザ大掃除	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動の意味や大切さの意識を持って頂くことを目的に、福祉保健活動の一環として全登録団体に行っていた。	5:地域		密を避けるため少人数制で3回に分けて実施する。各部屋の清掃項目、担当グループをアナウンスして安全に作業を行う。	1	43
15	空き室地域へひらく・活用づくりプロジェクト	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	空いている部屋を利用したいという、地域の方や学生・子育て中の方等に、安心安全にご利用頂けるよう、集いの場所として提供する。	3:養育者及び乳幼児	5	空き室利用の仕方を周知していく。また、安心安全に利用できるようルールの周知・徹底を行う。	0	0
16	にこにこサロン	平成27年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子・参加者間に交流の場を提供すると共に、ボランティアも交えて企画・運営を行うことで、子育て支援の在り方を共有し、充実させていく。	3:養育者及び乳幼児		絵本の読み聞かせ、ミニイベント等を開催し、参加者間とボランティアとの交流を行う。毎月第3火曜日	11	168

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	みんなでゆうゆうサロン	令和3年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	地域の方や高齢者に外に出る機会を提供し、サロンに集うことで、仲間づくりと交流を深めていただくことを目的とする。	5: 地域	1	近郊でのバードウォッチング、俳句等室内での活動、ノルディックウォーキングなど、参加者の意見も取り入れて、興味のある内容を企画する。毎月第2金曜日	11	101
18	ファミリープラザ	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て世代対象に、同世代との交流を通して、仲間づくり、子育てや家庭環境に関わる不安や悩みを解消出来るよう支援する。	3: 養育者及び乳幼児	4	地域の子育て世代のニーズに合わせた講座やイベントの実施。毎月第4金曜日又は第2日曜日	12	220
19	まちを知らう! ふるさとウォーキングvol.21~23	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、ウォーキングを通して健康作りと仲間づくりの場を提供する。	1: 高齢者	5	旭区内及び近郊の名所、史跡等を巡る。ウォーキングフレンズやハマトレサポーターズ白根の協力も得ながら、歩き方指導や準備体操を取り入れて実施する。不定期開催	3	48
20	横浜紀行 その三~五	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、写真撮影を通して地域愛を育て、健康づくりと仲間づくりの場を提供する。	5: 地域		魅力溢れる横浜の各所を探訪し、後日、それぞれの人が撮った写真を持ち寄り、作品の発表、意見交換を実施して親睦を図る。不定期開催	6	68
21	ズンバゴールド	令和3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者に向け、楽しみながら運動することで健康寿命を伸ばすことを目的とする。運動の苦手な方も参加できるようにする。	1: 高齢者		ラテン系音楽のリズムに合わせて筋肉を鍛える。普段あまり使わない筋肉を動かしながら、インナーマッスルを鍛えて美しい身体をつくる。5/2、6/6、7/4	4	53
22	やさしい手話	令和4年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	聴覚障害者にとってとても大切な言語である手話を学び、新たな出会いやコミュニケーションの輪を広げられるようにする。	5: 地域		手の動きや顔の表情で意志を伝えられるようになるための基礎講座。全6回 7/1、7/15、7/29、8/19、9/2、9/16	6	81
23	書初め教室	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の子育て支援と、書初めを通して日本古来の伝統文化を継承すると同時に、幼児・小・中学生を持つ家庭にケアプラザを周知するきっかけとする。	4: 子ども・青少年		習字が初めての幼児の書初め体験と、学校の書写に対し小・中学生の冬休みの課題に対応したアドバイスをを行い、書道に親しみをもち、意欲的に取り組めるような内容とする。12/26、1/5	2	24
24	つるしびなまつり	平成28年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の方の手作りのつるし飾りやひな飾り、和小物等を展示し、地域の方の憩い・交流の場とすることを目的とする。	5: 地域		エントランスから廊下、壁面を利用し一定期間開催・展示する。密にならずに、楽しめる内容の利用方法を提示する。	1	230
25	あさひプレパークみんなの基地がやってくる	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	参加者親子にとっての交流の場とする。身体を使って遊び方を感じ、また遊びの中から親子のスキンシップの取り方を学ぶ。	3: 養育者及び乳幼児		地域との共催事業 プレイリダーと一緒に、段ボール工作や新聞紙遊び、ねんど遊びなどを実施。	2	26
26	カフェ+プラス	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の誰もが気軽に立ち寄れる身近なカフェサロンとして、地域の交流の場、居場所としての機能を充実させる。	5: 地域		地域との共催事業 お話しやサロンミュージック等をプラスの機能で加えサロン活動を活性化させる。毎月第1木曜日	9	262
27	なかよし支援グループ	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	障害児者と保護者、参加するボランティアと一緒に、地域の中で共に活動し交流を持てるよう繋がりを楽しむ。	2: 障害児・者		後方支援 月1回のパン作りや課外体験、地域清掃、地域イベントの参加。 毎月第3日曜日他	12	184
28	白根公園ハマトレ体操	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍の中における、交流の場の減少や運動不足による筋力低下を予防する目的。	5: 地域		白根公園でハマトレサポーターズ・ボランティアの協力を得て、毎週月曜日に30分程度の運動習慣を実施していく。また夏休み中の子供の参加も促し多世代交流を図る。(7/26~8月の毎月曜日、雨天中止)	6	153
29	白根・団体対抗体力測定大会	令和4年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	白根地域ケアプラザで活動している各団体のチーム力向上と、自身の健康を見直しを推進する。	5: 地域	1.5	各団体の利用時間に30分程度の時間を頂き体力測定の実施を行う。 R4. 6/3.6.7.8.10.13.14.15.16.19.20.21.25.27	14	107
30	しらね将棋教室	令和4年度	4: 共催(1と2)	2: 発展させるねらい	将棋を学び、仲間づくりと多世代交流、講座終了後は、ボランティア、サロンへと発展させる	1: 高齢者	4.5	アマ四段の講師の指導で将棋を学ぶ。初心者も経験者も楽しめる講座の開催。 10/1、8 11/12、26 12/17、24 1/14、28 2/18、25 3/11、25 全12回	12	119
31	初めてのプログラミング	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休み中の小学生対象の余暇支援。プログラミングを学びながら、仲間づくりを行う。	4: 子ども・青少年		プログラミング専用子どもパソコンを使ったプログラミング講座 夏休みの自由研究を踏まえた内容。8/7	1	9
32	チャンバラチャレンジ	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休み中の小学生対象の余暇支援。スポーツチャンバラを体験するとともに仲間づくりを行う。	4: 子ども・青少年		子どもの年齢や体格に合わせハンデをつけることで体力勝負に偏らない様にし、ルールを理解し人と競う楽しさを学ばせる。8/19	1	19

